



第5話 私のアクセルとブレーキ

議員がやるべき仕事は限りがなく、関わりが広がるほどに行きたい用事も増えますが、私は3人の子どもを育てる母親でもあるので、時には用事をお断りすることもあります。そういう時は「参加したい気持ちはあるのに、行けないのが残念…」と感じますが、同時に子どもと過ごせる時間が確保できることにホッとして、明日はその分頑張ろうと思ったりします。仕事と生活の両立(ワークライフバランス)のためには、いつも頑張るアクセルだけでなく、必要に

応じてちゃんとブレーキが踏める気持ちの切り替えや、夫婦の協力が不可欠ですが、それらを許せる職場環境や社会の寛容さも少しずつ増えてほしいな、と思っています。



自然の中で子どもと過ごせる時間は大事です。

私の習慣...!?

作:ラブリ 絵:マリ



おおつかあいプロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの養育受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛県政レポート[第5号]
発行:2018年1月(2017年11月議会報告)
最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
・みどり岡山ホームページ:
http://midori-okayama.org

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808
e-mail:ai@midori-okayama.org

大塚愛

【第5号】
県政レポート(2018年1月発行)
Ohtsuka Ai "IPPO ♥ TSUSHIN" [no.005] 2018.1

いっぽ通信

- P.02-03 「若年被害女性の支援」など質問しました
- P.01 議会は暮らしに関するいろんなテーマが議論されています
- P.03 おもな活動記録から(2017年10月~12月)
- P.04 愛ちゃんがゆく! 一県議体験記 一/日々のうごき(2017年10月~2018年1月)



寒

お見舞い申し上げます。
県議になって2度目の予算協議の時期を迎えています。去年は難しい用語や数字の並ぶ予算案の説明も理解していくのがやっとなが、今年と同じ資料を見ても、それぞれの事業の背景や変遷など、資料から読み取れる内容が自然と増えており、1年

分の歩みを感じたりしています。
私の所属する土木委員会の分野では、おかやま「避難確保」プロジェクト、市町村空き家対策モデル地区事業、橋梁の長寿命化対策の事業(岡山県は道路橋梁数が日本一)などの新規事業が組み立てられ、それぞれ取り組みが期待されます。

皆さんは県議会の傍聴をご覧になったことがありますか? なかなか行きにくい場所と感ずるかもしれませんが、いざ



5度目の登壇。前回よりもしっかり話せました。

足を運んでみると、そこでは岡山県暮らしに関わるいろんなテーマが議論されています。たとえば前回の11月議会では24名の議員による113項目の質問が出されました。印象に残ったテーマをいくつか紹介しますと、「県立高校のクラス数維持」、「新規看護師の離職防止」、「おかやま農業女子の若者との交流」、「就労継続支援A型事業所の再発防止」、「人口減少対策に関する有効求人倍率の分析」、「災害時のJR



おかやまテクノロジー展にて、岡山市内で作られたトラクターに試乗。

日々のうごき 2017年10月~ 2018年1月	10.21 賀茂川フォレスト定期会、ホームレス支援さすな臨時総会	10.22 中部地区剣道スポーツ少年団交流大会、第一回御津将棋大会	10.24 公会計研修	10.25 常任委員会(土木委員会)	10.26 岡山市新斎場の控訴審(第2回)、いっぽプラズマ動画収録、居住支援協議会	10.28 お話会@福山市	10.30 フードバンクを考える会@建部	10.31~11.1 特別委員会県外調査@熊本県	11.1 御津公民館祭り&獅子舞フェスタ、てんでんてん@バラ園	11.5 旭川かいばり調査@竹枝	11.6 DV防止サポートシステムをつなぐ会・岡山@岡山市役所、県政・市政おはなし会@御津公民館	11.7 防災カフェ@吉備公民館、吉備高原音楽祭コンサート@湯山ギャラリー・竹富	11.9 民生委員100周年記念大会	11.11 建部小学校音楽会、オールライトファッションショー@旧山下小学校	11.12 おかやまマラソン開会式、会派代表質問項目整理	11.13 「3・11への祈り」ミーティング	11.14 再生可能エネルギー研修@鳥取県	11.15 常任委員会、会派代表質問読みあわせ	11.16 鳥取岡山土木委員会合同会議@米子	11.17 金光新聞(12月号)取材	11.18 県政・市政おはなし会@ナザレン教会、地区労定期大会、四手網	11.19 建部町文化祭&たけバマルシェ	11.20 特別委員会県内調査@笠岡市白石島	11.21 常任委員会、省エネマッチングセミナー	11.22 みどり岡山会議、県警少年課とお話、特別委員会、御津産廃砂防法のお話、保育を充実させる岡山市民の会	11.23 次女の七五三祝い	11.24 こころの病気を学ぶ授業(京山中学校+福祉事業所ひまわり)	11.25 竹枝小学校フェスティバル、福島県避難者交流会@尾道	11.26 おかやまものづくりフェア	11.27 エネルギーを語ってみる会、若年女性支援ミーティング	11.28 福島原発おかやま訴訟、中四国環境ビジネスネットフォーラム	11.29 だっぴ@建部中学校	11.30 11月定例会開会、アート展(スローカフェたんぼぼ)	12.1 フードバンクを考える会@建部公民館、	12.2 竹枝保育園発表会	12.5 代表質問(三宅和広議員)	12.4~10 質問原稿作成	12.8~15 一般質問(14日に登壇)	12.17 竹プラン作り@自宅隣空き地	12.18 特別委員会(地域振興・防災・環境対策)	12.19 常任委員会、土木女性職員との懇談	12.21 みどり岡山会議	12.22 11月定例会閉会	12.24 子ども未来・愛ネットワーククリスマス会	12.25 しょうがい児教育についての意見交換会、若年女性支援ミーティング	12.29 避難者交流会@福島県須賀川市	1.2 朝日高校ラグビー部70周年祝賀会	1.3 吉備中央町新春互例会	1.6 国労新春旗開き	1.7 大道旗開き	1.8 建部里山新年会	1.10 朝日一中十日会	1.11 岡山市操車場跡公園ミーティング@くらのたね	1.12 岡山北商工会新春互例会、「3・11への祈り」準備会、子ども未来・愛ネットワーク会議	1.13 民団新年賀詞交歓会、福武教育フォーラム	1.14 岡山市消防出初式、地区労学習会、阪神淡路大震災23年集会以て講演@神戸市	1.15 常任委員会(H30年度予算案発表)、予算協議会の会派会議、若年女性支援ミーティング
--------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	-------------	--------------------	---	---------------	----------------------	--------------------------	---------------------------------	------------------	--	--	--------------------	---------------------------------------	------------------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------	------------------------	--------------------	-------------------------------------	----------------------	------------------------	--------------------------	--	----------------	------------------------------------	---------------------------------	--------------------	---------------------------------	------------------------------------	-----------------	---------------------------------	-------------------------	---------------	-------------------	----------------	----------------------	---------------------	---------------------------	------------------------	---------------	----------------	---------------------------	---------------------------------------	----------------------	----------------------	----------------	-------------	-----------	-------------	--------------	----------------------------	--	--------------------------	---	--

「若年女性支援」「新エネルギー」「ヒートショック」について質問しました。(2017年12月14日登壇)

Q. 新エネルギーの普及について

地域経済とエネルギー政策

石油やガスなど岡山県内で消費される輸入化石燃料のコストは、年間3538億円(平成26年GDP換算)となっていま



す。これは、県内の建設業総生産額の3450億円に匹敵する額です。今の暮らしのスタイルが続けば、この多額のお金はこれから毎年県内から海外へ自動的に流出していくことになりますが、バイオマスや水力発電、太陽熱のように地域から生み出されるエネルギー供給を増やしたり、省エネ改修などによりエネルギーの必要量を減らすことができれば、その分輸入化石燃料の使用量は減り、その代わりに地域にお金を循環させることができます。

このように省エネや新エネルギーの普及は、域内のお金の動きの方向を変えるという点で、地域経済にとっても重要な取り組みになると言えます。省エネ・新エネの導入を地域経済の活性化に結びつける政策について、知事のお考えをお聞かせください。

A. 新エネ・省エネの推進により地域にお金が回ることは望ましい。新エネには課題もあるが、住宅の断熱などの省エネ対策には、取り組む余地が多いと考える。

ソーラーシェアリング

ソーラーシェアリングとは農業と発電事業を同時に行うもので、2013年より支柱の基礎部分のみを農地転用する「一時転用」が認められ、現在全国900か所以上で設置されています。

ソーラーシェアリングは、発電設備で影が生じても十分に栽培できる作物の選定、複雑な申請業務や資金調達などが課題としてありますが、それらをクリアできれば、農業経営における新たな収入確保の方法として、また農地の新たな活用法として可能性をもつものと思われます。

また、今年奈良県では水田に太陽光発電設備が設置され(写真参照)、10月には例年通りの収穫ができたことが確認されました。この設備はパネルを水平にすると下でトラクターを動かす時に十分な作業スペースも取れるようになっていきます。また、このケースでは初期投資を10~15年で回収できると試算されていますので、売電収益の約3分の1が農家の収入になることになります。

本県においても、関心をもつ農業従事者

などの方に適切な助言ができるよう、他地域の先進事例を含む関連情報を収集していくことや、ソーラーシェアリングの研修を行ってはいかがでしょうか。

A. 市町村や農業委員会と連携して、導入を希望する農業者に情報提供や相談対応を行っていきたい。



太陽センサーで向きを変えるソーラーパネル。台風の際はパネルが水平になるので、鳥取県では何度台風が来ても大丈夫だったそうです。Photo: エグテック社(天理市)提供

おもな「活動記録」から(2017年10月~12月)

フードバンクを考える会

@建部公民館(10月30日、12月1日)

フードバンクの映画鑑賞をきっかけに、関心をもって集まった人達で話し合っ中、親が忙しく十分な食事を取ることが

できていない子どもがいることや、地域で世代間交流の場が少ないこと、障がいをもつ方の生活支援でも食材が必要なことなどがわかりました。そこで、学校でのフードバンク活用や地域での食事会などを検討してみようと、アンケート調査をすることになり、これから実施予定です。

Q. 若年被害女性の支援

県内でDVや子ども支援を行う民間団体は、生きづらさを抱える少女たち(若年女性)が近年増えていると感じていま

す。その問題は虐待、性暴力、望まない妊娠・出産、非行、依存症、自傷行為、ひきこもりなど様々で、親からの暴力や生活困窮などが背景になり、家や学校に居場所がない少女たちが、大人から十分な助けが

得られないまま自立への困難さを抱えていると言えます。また、県内の児童相談所では、高校生にあたる年齢の一時保護が2010年から約3倍に増えています。

大人への信頼感が持てない若年女性は、困っていても誰かに相談するということができず、支援が必要なほど支援につながらない現状があります。また、収入を得る手



女の子の声が続けられた「VOICES」。生きづらさを抱える女の子の支援を行うbondプロジェクト刊。
http://bondproject.jp
Instagram「bondproject」

段として性産業を選ぶことも多く、そこでさらなる性暴力や望まない妊娠という問題を抱えることも少なくありません。本県における梅毒患者の報告数は東京について2位で、特に20代女性の感染者が増えており、18歳未満の人工中絶率も低くない現状があります。座間市で起きたような事件を根本的に防ぐためには、居場所もなく不安を抱えた若

入浴関連事故に関する研究(注)によると、全国で年間19000人がヒートショックに関連した入浴中の急死に至ったと推計されており、この数は交通事故による死亡者数の4倍以上に相当します。また、入浴事故は最低気温の低いときほど起こりやすく、12月~1月に多発していることがわかっています。

防止対策としては、浴室、脱衣室、トイレなどを暖房器具で温めること、断熱改修を行うこと、お湯の温度を41度以下にすること、手足にかけ湯をしてから浴槽に入ることや急に

年女性に、居場所やつながりを与える支援の手を届けていくことが不可欠です。

現状をどのように受け止めていますか。また、民間団体でも協議している支援モデル事業の実施を検討してはどうか。

A. SNS利用や性に対する知識不足、子どもの貧困が背景にあると考え、スマホの正しい利用や性教育の実施、貧困に関する生活実態調査などを行っている。モデル事業については民間団体の計画を聞いていきたい。

Q. ヒートショック

湯船から立ち上がらないことなどが挙げられます。

県内での実態をどのように把握し、対策を取っていますか。また、浴室や脱衣所を含む住宅の断熱改修を促進させるために、どのように取り組んでいますか。

*注:平成25年「入浴関連

事故の実態把握および予防対策に関する研究」

A. 実態は把握できていないが、県内でも相当数の事故があると考え。住宅の断熱改修は事故防止に役立つので、住宅リフォーム推進協議会で研修会や相談会を開催したり、補助制度の周知を今後も取り組む。



12月から1月はヒートショックが起こりやすい。

- [防止対策例]
・浴室や脱衣室をあらかじめ暖める。
・お湯は41度以下にする。
・かけ湯をしてお湯を体に慣らす。

県政・市政おはなし会

@御津(11月6日)/@岡北(11月18日)

市議の鬼木さんと一緒に、定期的に各地でおはなし会を開いています。市政や県政において取り組んでいる問題について聞いていただいたり、後半は参加した皆さんからの質問やご意見を聞かせてもらい、毎回いろんなお話が聞けて勉強になっ

ています。今回は御津の水源地に建設予定の産業廃棄物処理場や、保育園の問題へのご意見も多かったです。来られた方同士がその場で知り合い、おしゃべりが弾む場面

